

排泄サポートリフト

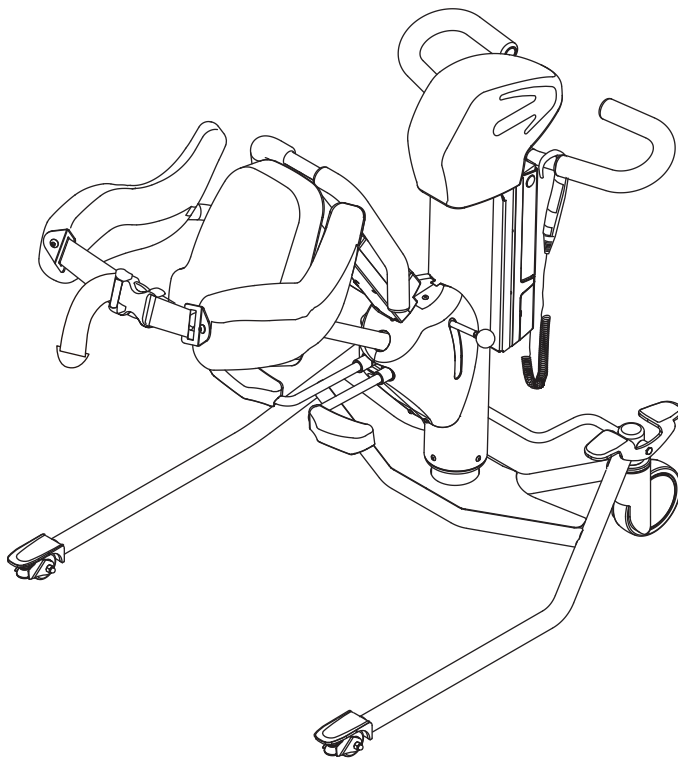
型番 TL-300

取扱説明書

目次

まえがき	2
表示記号のご説明	2
排泄サポートリフト TL-300 について	3
使用目的	3
特長	3
各部の名称	4
ご使用になる前に	5
はじめに	5
ご利用できない方	5
安全上の注意	6
使用前点検	9
使用方法	10
充電器	10
バッテリー	12
ブレーキ（後輪キャスト）	15
手元スイッチ・本体スイッチ	16
マストの昇降	17
アームの昇降	17
移乗高さメモリ登録	18
任意の高さに降ろすとき	19
緊急停止装置	20
膝受けの開閉	21
安全ベルトの着脱	21
排泄介助方法	22
日常のお手入れ	32
お手入れ方法	32
消耗品の名称	34
消耗品の交換時期	34
トラブルシューティング	36
リフト	36
バッテリー・充電器	38
ご使用期間とアフターサービスについて	40
ご使用期間について	40
修理を依頼されるときは	40
仕様	41

保証書



この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

なお、この取扱説明書には、保証書が付いております。

取扱説明書の内容、および保証書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

本製品を安全にご使用いただくには、本書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、ご使用ください。

本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。

また、本書で説明している使用方法および安全に関する注意事項は、本製品を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。本書で説明していない使用方法是、行わないでください。

仕様の変更により、本書の内容の中に、お買上げの製品と詳細において異なる場合があります。

お買上げの製品または本書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。

表示記号のご説明

本製品および本書には、使用者および他の人への危害や損害を未然に防ぐため、安全上の注意を次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味を十分にご理解のうえ、安全上の注意を必ずお守りください。

●表示の意味

⚠ 危険…誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う深刻な危険が予想される内容を説明しています。

⚠ 警告…誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を説明しています。

⚠ 注意…誤った取扱いをすると、人がケガを負う可能性および本製品の故障につながる可能性が予想される内容を説明しています。

注意…本製品の故障を防ぐための注意事項や、より快適にご使用いただくためのアドバイスなどの内容を説明しています。

●記号の意味

⊘ 禁止することを説明しています。

⚠ 注意することを説明しています。

❗ 強いお願いをすることを説明しています。

排泄サポートリフトTL-300について

使用目的

ベッドや車椅子からトイレまでの移乗介助を補助し、介助者の負担を軽減する排泄サポートリフトです。

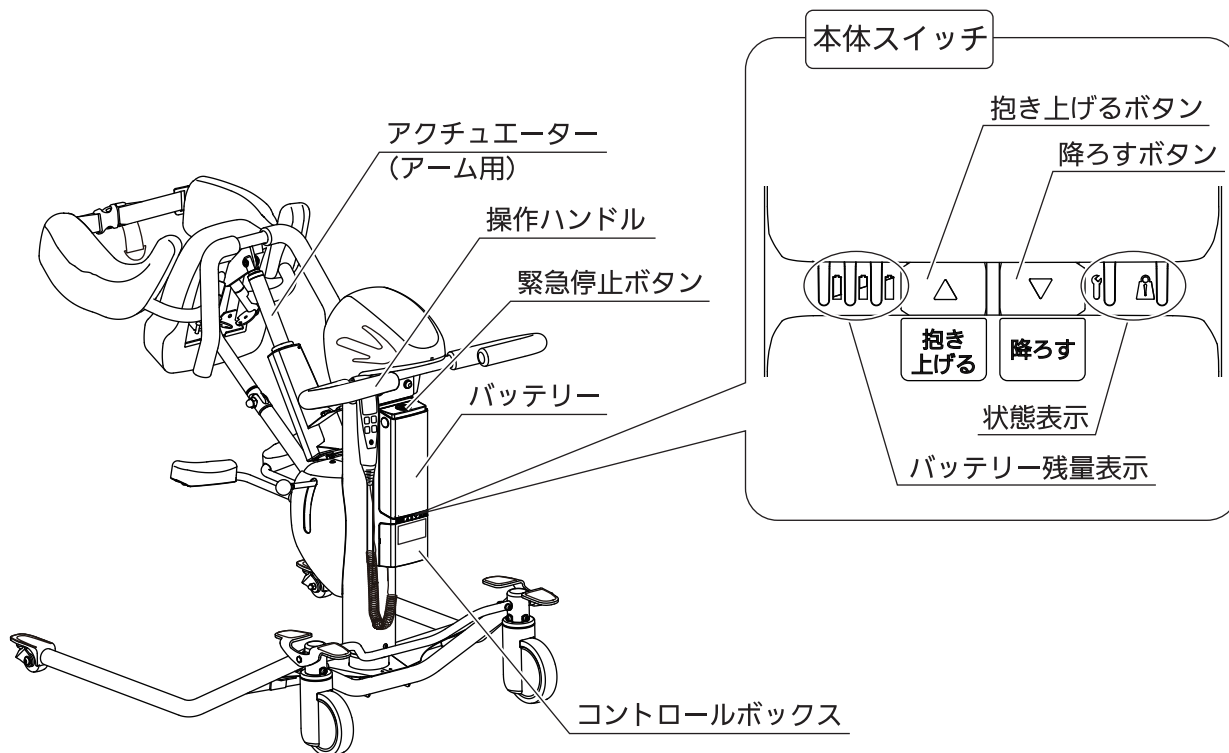
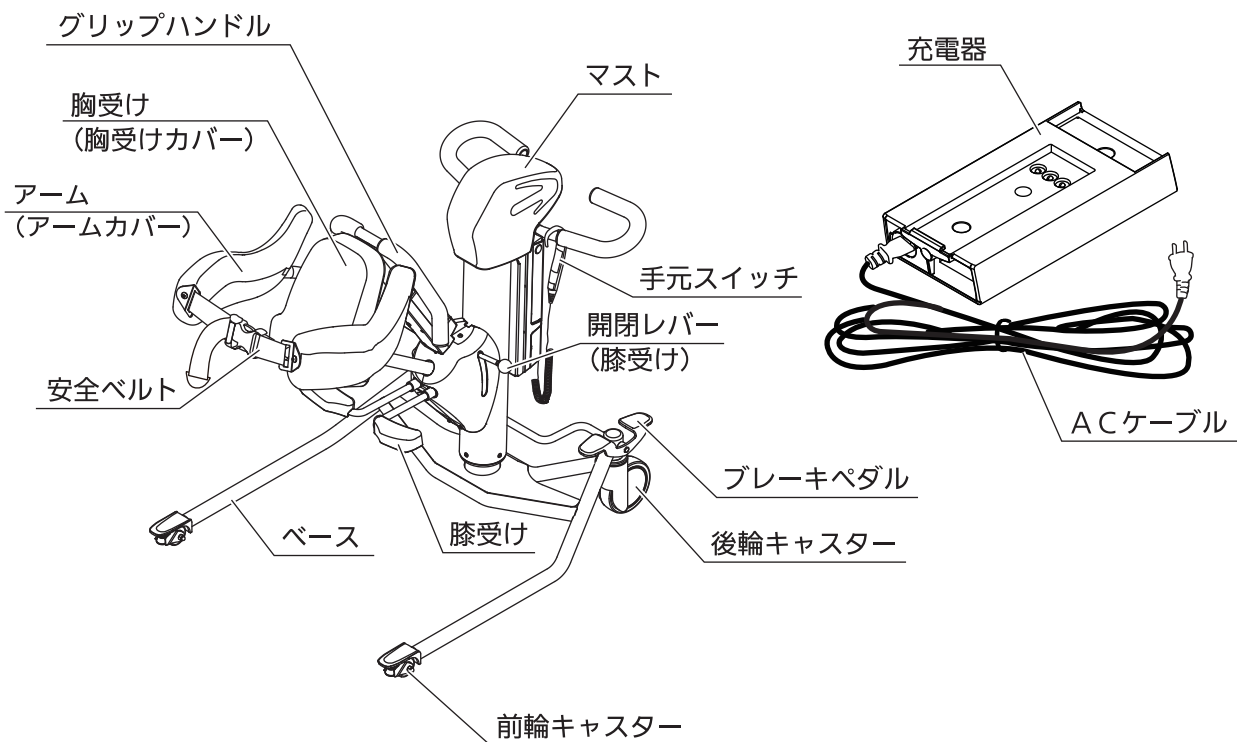
特長

- ・立位保持が困難な方でも座位のまま移乗できます。
- ・リフトで抱き上げたまま下衣を下ろすことができます。
- ・吊り具を使わず、効率的な移乗介助と排泄介助が行えます。
- ・低いベースで低床タイプのベッドでも使用できます。
- ・あらかじめ車椅子や便座など移乗対象物の高さを3ヵ所メモリ登録できるため、効率よく介助できます。

- ・後輪キャスターは2輪同時ブレーキ機能により、安全に排泄介助が行えます。
- ・手元スイッチに加え、マスト後方にあるコントロールボックスにもスイッチを搭載しました。介助者の手の届きやすいところにスイッチがあり、効率よく介助できます。
- ・マスト下降時ははさみ込み防止機能や、緊急停止ボタンを装備しています。
- ・バッテリー残量はコントロールボックスで確認できます。(4段階表示)
- ・小型軽量のリチウムイオンバッテリーのため、着脱・充電が楽に行えます。また、劣化しにくい長寿命タイプで、有害物質も含まない環境に配慮したバッテリーです。

排泄サポートリフトTL-300について

各部の名称



ご使用になる前に

はじめに

初めて使用する場合や、長期間使用しなかった場合は必ず充電してください。

…本製品は、ご使用にならなくても、少しずつ電力を消費します。残量が少ない状態が続くと、バッテリーの寿命は短くなります。本製品を2週間以上使用しないで保管するときは、本体から取外し、充電完了させてからバッテリー単体の状態で、風通しの良い涼しい場所に保管すると、バッテリーが劣化しにくくなります。

車椅子、便座等の高さをメモリ登録してください。(高さの登録方法については、本書18ページ参照)

…使用ごとに位置を確認する必要がなくなり、効率よく介助できます。

ご利用できない方

専門の医師や理学療法士、作業療法士などにご相談のうえ、ご利用者の症状や体調に合わせて使用してください。

日々の使用で症状や体調に変化がある場合にも、専門の医師や理学療法士、作業療法士にご相談のうえ使用してください。

該当しない場合でも、安全を確保できない懸念がある方には使用しないでください。

⚠ 危険

次の方には骨折やケガ、転落の危険があるため使用しないでください。

●骨折やケガの危険

- ①骨粗鬆症と診断されている方
- ②肋骨骨折、大腿骨骨幹部骨折、大腿骨顆上骨折の既往のある方
- ③肩関節に亜脱臼または脱臼のリスクのある方
- ④肩関節、股関節に可動域制限のある方
- ⑤肩関節、股関節、膝関節に痛みのある方

●転落の危険

- ⑥肩関節が柔らかく抜け落ちる可能性のある方
- ⑦麻痺のある方(弛緩性麻痺・痙性麻痺)
- ⑧体調のすぐれない方
- ⑨体動の激しい方や姿勢が安定しない方
- ⑩脇、胸、膝裏で自身の体重を支えられない方







ご使用になる前に

安全上の注意







次の内容および本製品に表示された安全上の注意事項を必ずお守りください。
これら安全上の注意以外であっても、無理な使用はしないでください。

●製品全体の安全上の注意

⚠ 危険






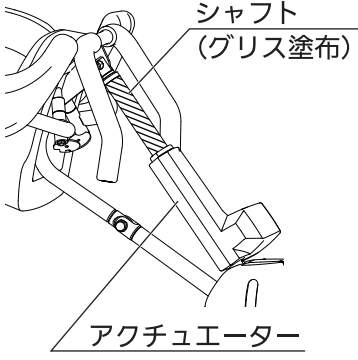



	本製品の最大持上げ質量は100kgです。100kgを超える方には使用しないでください。
	本製品は1人用です。必ず1人の方にご使用ください。
	本製品に修理が必要な場合は直ちに使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
	本製品の改造はしないでください。改造が必要な場合は、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。 …事故や故障の原因になります。
	傾斜地では使用しないでください。 …傾きによりバランスを崩し、転倒する恐れがあります。
	介助者は、ご利用者を乗せたまま本体から離れないでください。 …転落、転倒してケガをする恐れがあります。

⚠ 警告


	小さなお子様や取扱説明書の内容が十分ご理解ができないと思われる方には操作させないでください。また、本製品は使用目的以外では使用しないでください。
	本体に貼付けてあるシールの内容は安全上、および本製品を正しくご使用いただくために非常に重要ですので必ずお守りください。
	本製品を使用するときは、周囲の安全を確認してから操作してください。
	介助者がご利用者の状態を変化させる場合には、ご利用者の様子を見ながらゆっくりと操作してください。少しでもご利用者に異常が見られたときは直ちに操作を中止してください。
	アーム、アクチュエーター、膝受け、マストなど可動部のすき間で手や足などをはさまないように注意してください。
	マストには、はさみ込み防止機能がありますが、下降中に何かに当たった場合は直ちに下降する動作を中止してください。

ご使用になる前に

⚠ 注意

	<p>高熱を発生するものの近くには置かないでください。 …異常過熱による故障、火傷、火災の原因になります。</p>	
	<p>直射日光の当たる所に放置しないでください。 …長時間直射日光が当たると製品劣化の原因になります。</p>	
	<p>異常に気がついたら直ちに使用を中止してください。 …そのまま使用すると事故の原因になります。</p>	
	<p>本製品は防水構造ではありません。浴室など水がかかる場所や、湿度の高い場所、雨にさらされる屋外では使用または保管をしないでください。また、水洗いはしないでください。</p>	
	<p>アクチュエーターのシャフト部の伸縮部分にはグリスが塗布されています。手や衣類が触れないように注意してください。 …グリスが付着して汚れる恐れがあります。</p>	 <p>シャフト (グリス塗布)</p> <p>アクチュエーター</p>
	<p>アクチュエーターを持って移動させないでください。 …シャフト部の曲がりや破損の原因になります。</p>	
	<p>手元スイッチ、バッテリー、充電器は、落としたりぶついたりなど乱暴に扱わないでください。 …故障、誤動作の原因になります。</p>	
	<p>充電器のコード、手元スイッチのケーブル、アクチュエーターのケーブルは、無理な折曲げや引っ張り、はさみ込みなどが無いように取扱ってください。また、ひび割れや傷などが無いか定期的に確認してください。 …故障、感電、漏電による火災の恐れがあります。</p>	






注意

	<p>無垢材の床に本製品を保管するときは、マットなどを敷いてキャスターが床に直接触れないようにしてください。 …床の材質によっては、数時間同じ場所に置くと、キャスターが床にシミをつける恐れがあります。</p>
---	--



ご使用になる前に

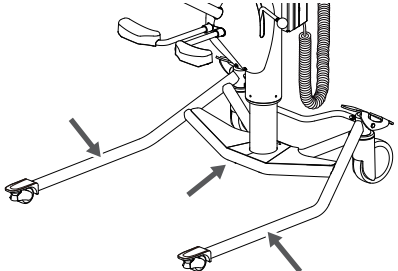
●移乗時・排泄介助時の安全上の注意

⚠ 危険




	ご利用者を乗せたまま段差の乗り越えはしないでください。また、床面の溝などにキャスターが脱輪しないよう注意してください。
	搬送中にご利用者が身体を乗り出すなどして、安全性を損なうことのないようにしてください。
	ご利用者を乗せて長距離を移動しないでください。 …長距離の移動はご利用者に身体的な負担がかかり、転落する危険性が高くなります。 長距離の移動は車椅子などを使用してください。
	股関節が外転している方、骨盤が後方に傾斜し足が外側に開いている方、筋緊張が強く足が外側に開いている方は、膝受けから大腿部が落ちる可能性があるので十分注意してください。
	ご利用者を降ろしてからも、ご利用者の安全には十分注意してください。

⚠ 注意

	アームや胸受けのカバーは正しく装着してください。 …不意にカバーがずれるなど、転落、転倒などの事故の原因になります。
	ベース部分には足を乗せないでください。 …故障や、転落、転倒などの事故の原因になります。



注意

	移乗の際に、畳やじゅうたんなどで本体が動かしにくい場合は、車椅子などの動かしやすい方を動かすようにしてください。
	屋外では使用しないでください。 …キャスターに小石が噛み込み、故障や、転落、転倒などの事故の原因になります。
	キャスターは消耗品です。車輪の動きが悪くなったとき、ブレーキのききが悪くなったとき、しっかり固定されているのにがたつくとき、タイヤ表面にひび割れや劣化が現れたときは、使用を中止し、新品に交換してください。 …転倒してケガをする恐れがあります。

ご使用になる前に

使用前点検

ご使用前に、毎回必ず点検し、項目をすべてクリアした場合に限りご使用ください。
ひとつでもクリアできない項目があった場合は使用を中止し、対処方法に従ってください。

使用前点検項目		対処方法
ブレーキはかかりますか。 (かからないとき→NO)		使用を中止し、ご購入先または 弊社各営業所までご連絡ください。
ACケーブル、手元スイッチのケーブル、 アクチュエーターのケーブルに劣化による ひび割れ、傷はありませんか。 (ひび割れ、傷があるとき→NO)	▶ NO	
昇降はできますか。 (できないとき→NO)	▶ NO	バッテリーは確実に接続されているか、 緊急停止ボタンが押されていないか、 確認してください。 (本書 13、20 ページ参照)
昇降時に 「ピー」と音は鳴っていませんか。 (「ピー」と音が鳴っているとき→NO)	▶ NO	充電してからご使用ください。
操作中、 気になるがたつきはありませんか。 (あるとき→NO)		使用を中止し、ご購入先または 弊社各営業所までご連絡ください。
操作中、気になる音はしませんか。 (音がするとき→NO)	▶ NO	
消耗品は大丈夫ですか。 (本書 34～35 ページ参照) (交換時期になっているとき→NO)		

⚠ 注意







使用前点検項目以外でも、おかしいと感じたり、今までと違うような気がした場合は、絶対に使用せず、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。お客様の判断で本書に示されていない内容の対処はしないでください。









充電器

●充電器の安全上の注意

⚠ 危険

	充電器は、風通しの良い場所でご使用ください。タバコなどの火の気のある場所、直射日光下や発熱体の近くなど高温の場所、浴室などの湿度の高い場所や水分のかかる場所、振動、塩害、化学性ガス害の受けやすい場所、密閉容器内などでは使用しないでください。 …発火、爆発、漏電、感電、故障の原因になります。
	ガソリン・オイルなどの可燃物の周辺や法令で第一種・第二種危険場所に指定されている場所では使用しないでください。 …火災、引火爆発の原因になります。
	充電器は、本製品付属のバッテリー以外の充電には使用しないでください。 …発火、爆発、故障の原因になります。
	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 …感電事故の原因になります。

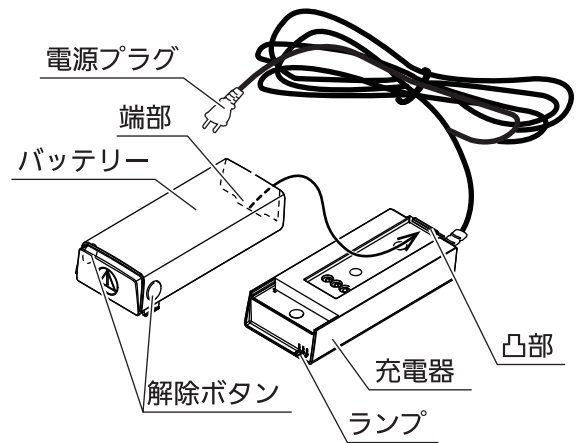
⚠ 注意

	子供・乳幼児には手をふれさせないように注意してください。 …ケガ、感電、発火、故障の原因になります。
	充電器の電源は家庭用AC100V専用です。 …他の電源を使用した場合、発火、故障の原因になります。
	充電器は、落としたり衝撃を与えないでください。 …ケガ、感電、発火、故障の原因になります。
	ACケーブルの上に物を載せないでください。また、コードに劣化によるひび割れ、傷などがいないか定期的に確認してください。 …感電、発火、故障の原因になります。
	充電器のACケーブルは、コードを引っばらず、必ず電源プラグを持って抜いてください。また、充電器を使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いておいてください。 …ACケーブルが破損し、感電、発煙、火災やケガの原因になります。
	充電器の放熱を妨げるような使用はしないでください。 …発火、故障の原因になります。
	分解および改造はしないでください。 …感電、発火、故障の原因になります。
	充電器は、室温5℃～40℃の範囲でご使用ください。

使用方法

● バッテリーの充電方法

- ① 電源プラグを家庭用AC100Vコンセントに差し込むと、ランプ（緑）が3つ点灯します。
- ② バッテリー下の端部を充電器の凸部に差し込み、バッテリー上部をロックがかかるまでしっかり押し込みます。
- ③ バッテリー残量に応じてランプ（緑）が点灯／点滅し、充電を開始します。



フル充電するためには、約4時間かかります。

ランプ				
状態	90～100% (バッテリー無しの場合は通電中)	65～90%	40～65%	0～40%

- ④ 充電が完了したら、バッテリーの両側面にある解除ボタンを押込んだまま両手で持上げて、取外してください。
- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜きます。

アドバイス

- 充電器は、平坦な場所に置いてご使用ください。
- バッテリーが完全に放電している場合は、バッテリーの保護のために通常よりも時間をかけて充電を行います。そのまま充電が完了するまでお待ちください。

● 異常時の処置

⚠ 危険



充電中に異臭、異音、変色を感じたり、異常に高温になったときは、直ちに充電を中止し、バッテリーを取外してから離れてください。その後、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。




…発火、爆発の原因になります。

使用方法



バッテリー

●バッテリーの安全上の注意




⚠ 危険

	バッテリーは、本製品付属の充電器以外で充電しないでください。 …発火、爆発、故障の原因になります。
	火気を近づけないでください。 …発火、爆発、故障の原因になります。
	分解・改造しないでください。 …発火、爆発、故障の原因になります。

⚠ 警告


	バッテリーを廃棄する際は、一般ごみと一緒に廃棄せず、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。 …火災や破裂の原因となることがあります。
	リチウムイオンバッテリーを輸送する場合は取扱いに制限が生じます。輸送業者などに確認、相談をおこなってください。

⚠ 注意

	バッテリーは、落とすなどして衝撃を与えないでください。 …ケガ、感電、発火、故障の原因になります。
	バッテリーは、室温5℃～40℃の範囲でご使用ください。
	バッテリーは、水に浸けないでください。水に浸かったバッテリーはご使用を中止し、交換および廃棄してください。 …発火、爆発、故障の原因になります。

●異常時の処置

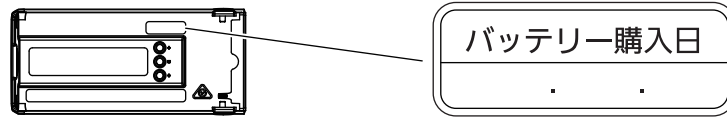
⚠ 危険

	ご使用中に異臭、異音、変色を感じたり、異常に高温になったときは、直ちに使用を中止し、バッテリーを取外してから離れてください。その後、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。 …発火、爆発の原因になります。
---	--

使用方法

● バッテリーの管理

バッテリーの管理にお役立ていただけるよう、ご購入日の記入欄を設けています。
ご購入日を油性フェルトペンなどで記入してください。



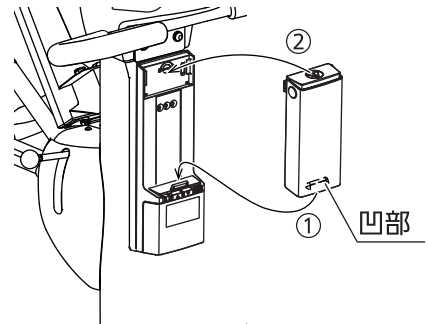
アドバイス

- ・バッテリーは消耗品です。充電後の使える回数が新品時の半分(フル充電バッテリーでの昇降回数約35回)程度に低下したら交換時期です。使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
- ・初めて使用する場合や長期間使用しなかった場合は、必ず充電してください。
- ・バッテリーは直射日光を避けて、なるべく涼しい所に保管すると、劣化しにくくなります。
- ・バッテリーは、なるべく10℃～25℃の範囲で使用すると、劣化しにくく長持ちします。

● バッテリーの着脱

バッテリーの取付け方法

- ①バッテリー下の凹部を、コントロールボックスの凸部に差込みます。
- ②ロックがかかるまでバッテリー上部をしっかり押込みます。
- ③ロックがかかって外れないことを確認します。



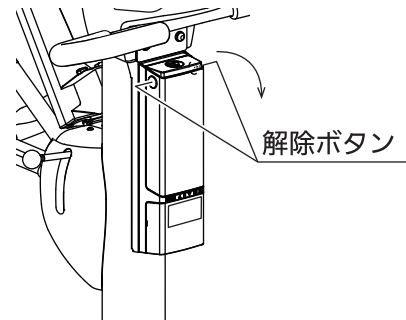
⚠ 注意



指などを挟まないように注意して取付けてください。

バッテリーの取外し方法

- ・バッテリー上部の両側面にある解除ボタンを押込んだまま両手で支え、取外します。



⚠ 注意

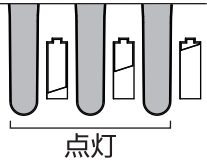
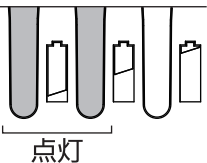
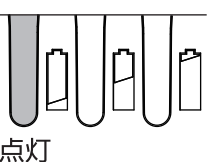
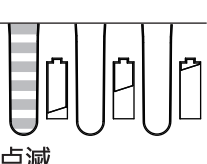
	バッテリー着脱時はバッテリーを落とさないように両手でしっかり持ってください。	
	バッテリー裏側にある端子部を、金属に接触させないでください。 …ショートして感電したり、故障の原因になります。	
	バッテリーがぬれたときは、水分をよく拭取ってから、本体への取付けや充電をしてください。	
	バッテリーをぬれた手で触れないでください。 …ショートして感電したり、故障の原因になります。	

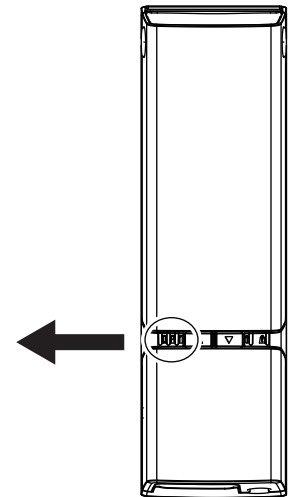
使用方法

● バッテリーの残量確認

バッテリーをコントロールボックスに接続すると、バッテリー残量に応じてランプが点灯します。ランプは数分後に消灯します。

再び確認する場合は、本体スイッチ、または手元スイッチのボタンを押すか、バッテリーを脱着するとランプが点灯します。

 <p>点灯</p>	バッテリー残量は75～100%です。
 <p>点灯</p>	バッテリー残量は50～75%です。
 <p>点灯</p>	バッテリー残量は50%未満です。 無理に使用せず、早めに充電してください。
 <p>点滅</p>	使用せず、充電してください。 そのまま操作すると、ピーと音が鳴ります。



アドバイス

- ご使用前にバッテリー残量が十分あることを確認してください。
- 使用後はバッテリーを本体に接続したままにせず、毎回充電してください。本体に接続した状態では、ご使用にならなくても、少しずつ電力を消費します。残量が少ない状態が続くと、バッテリーの寿命は短くなります。
- バッテリーは保管中も自己放電によって徐々にその容量を失っていますので、充電しないと性能が出ないことがあります。使用しない場合は充電してから取外して保管し、最低でも12ヵ月以内に再び充電してください。

⚠ 注意

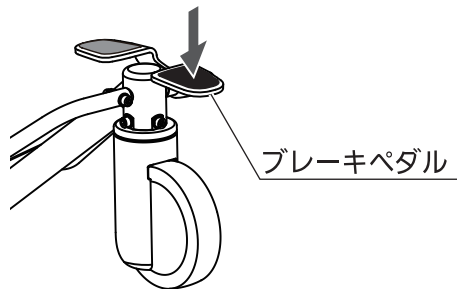


残量低下にもかかわらず連続使用した場合は、バッテリーの保護機能により電源が切れることがあります。この場合、残量表示や各機能は正常に動作しなくなります。直ちに充電してください。

ブレーキ(後輪キャスト)

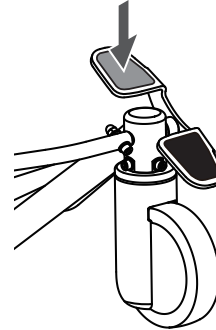
●ブレーキをかける

ブレーキペダル(黒色側)を踏込むと、後2輪とも同時にブレーキがかかります。



●ブレーキを解除する

ブレーキペダル(灰色側)を踏込むと、後2輪とも同時にブレーキが解除されます。



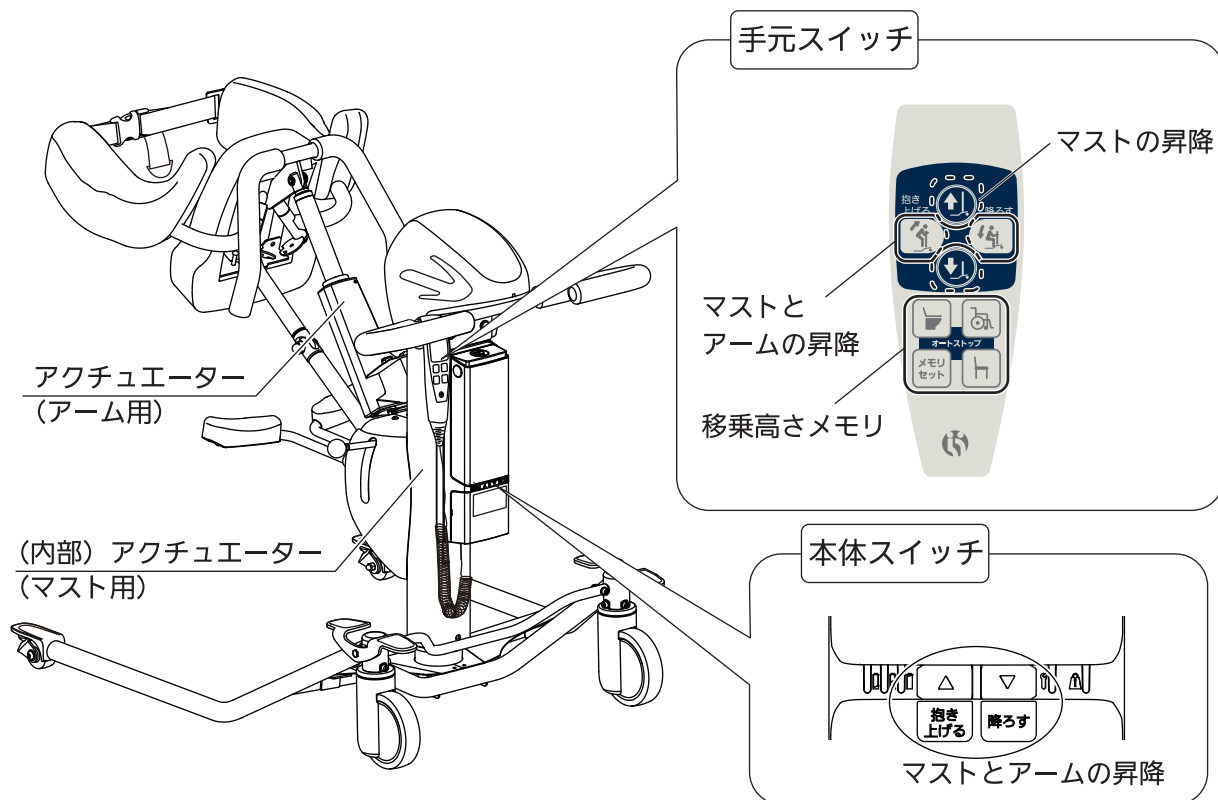
⚠ 注意




ブレーキペダルの上に乗ったり、必要以上に強く操作しないでください。
…事故、故障の原因になります。

使用方法


手元スイッチ・本体スイッチ




⚠ 危険

 手元スイッチ、本体スイッチはご利用者に操作させないでください。

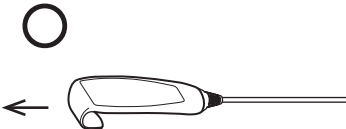
⚠ 警告

 手元スイッチ、本体スイッチを必要以上に操作しないでください。
…電気系統の故障、劣化、誤作動による事故の原因になります。

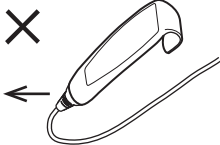
⚠ 注意

 手元スイッチのケーブルは無理な折曲げや引っ張り、はさみ込みがないようにしてください。特にケーブルを伸ばす場合、手元スイッチ根元部分が急角度になるような伸ばし方はしないでください。
…故障の原因になります。


ケーブルの伸ばし方

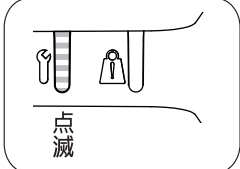


○



×



 アクチュエーターを2分間以上連続して使用しないでください。2分間使用した場合は、18分間休止してください。
…2分間以上連続して使用すると、電装品が故障する恐れがあります。
…連続使用時間を越えて使用すると、コントロールボックスが橙色に点滅します。

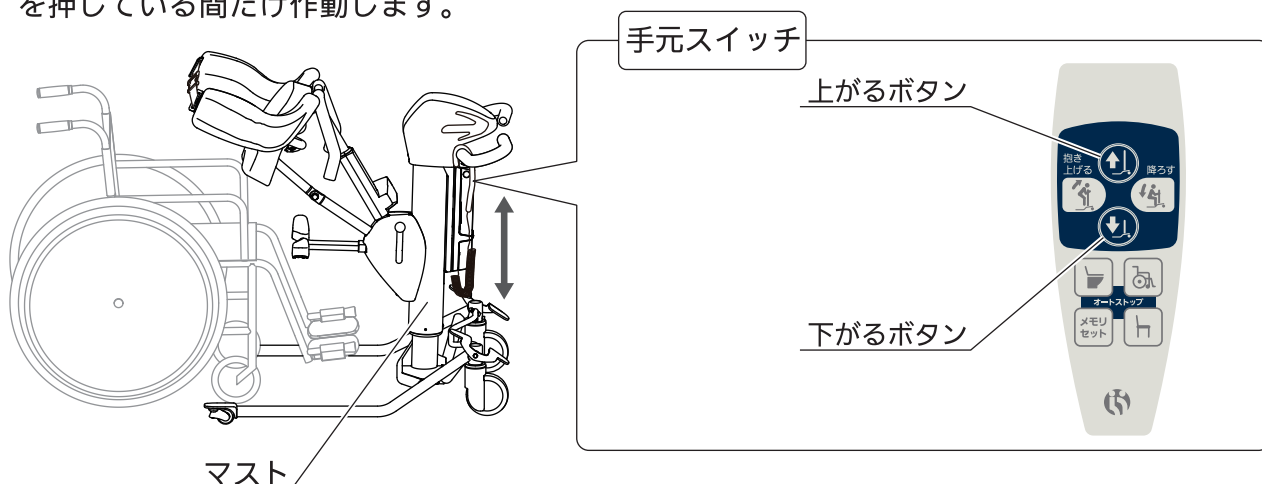


点滅

使用方法

マストの昇降

手元スイッチの  上がるボタン、 下がるボタンを押すと、マストが昇降します。ボタンを押している間だけ作動します。







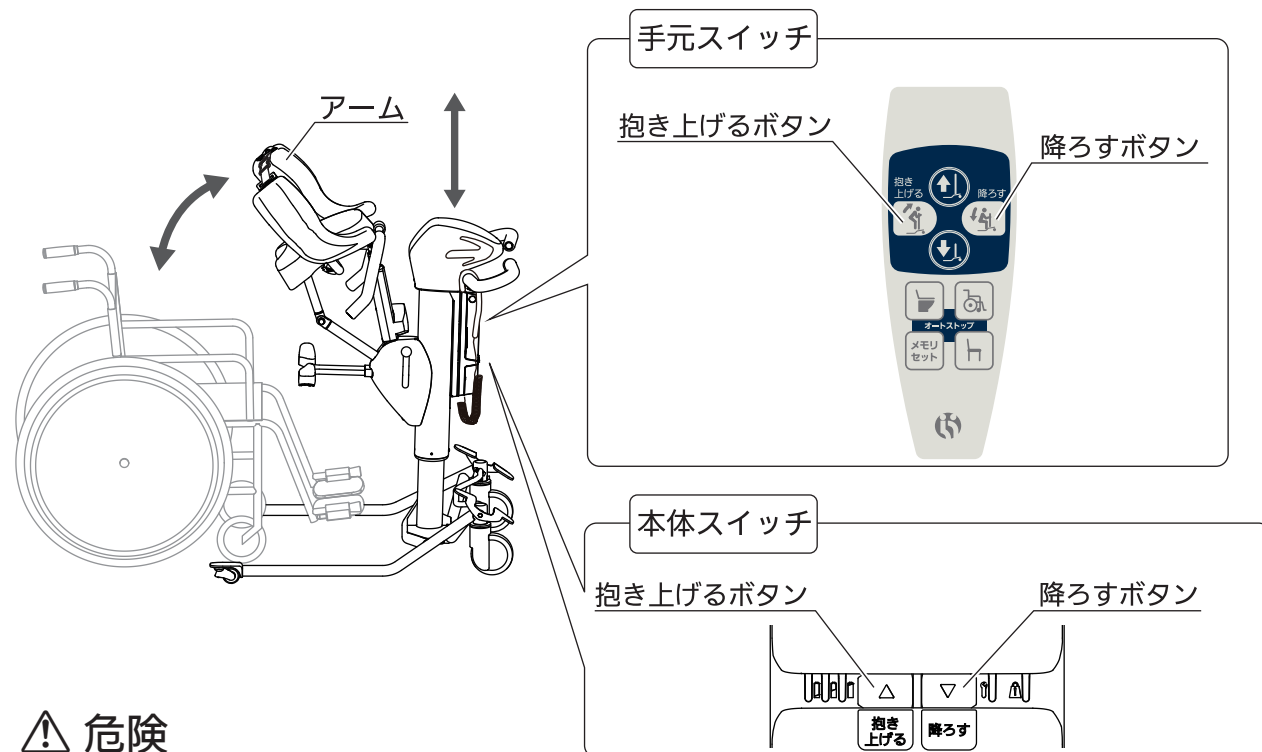
⚠ 危険



マストを昇降させるときは、ご利用者の転落、転倒、手足（身体）のはさみ込み、物のはさみ込みに十分注意してください。

アームの昇降

手元スイッチの  抱き上げるボタン、 降ろすボタンおよび、本体スイッチの  抱き上げるボタン、 降ろすボタンを押すと、マストの昇降に合わせてアームが昇降します。ボタンを押している間だけ作動します。



⚠ 危険

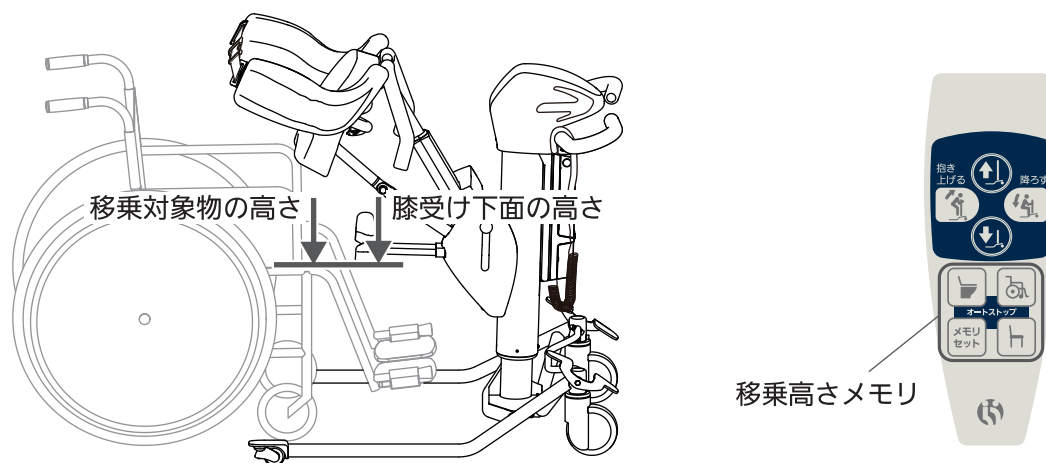


アームを昇降させるときは、ご利用者の転落、転倒、手足（身体）のはさみ込み、物のはさみ込みに十分注意してください。





使用方法

移乗高さメモリ登録





車椅子や便座など移乗対象物の高さに合わせてマスト（膝受け下面）の高さを3ヵ所メモリ登録できます。ボタンを押すだけで登録した高さまでマストが昇降した後、アームが降りて自動停止します。






●登録するとき

- ①登録したい高さまでマストを昇降させます。
- ②  メモリセット + ( トイレ、 車椅子、 椅子のいずれか) のボタンを同時に3秒間、ピッと音が鳴るまで長押しします。
(登録するたびに上書きされます。アームの位置は登録できません。)

●メモリ機能を使った操作

-  トイレ、 車椅子、 椅子のボタンのいずれかを押し続けると、あらかじめ登録された高さまでマストが昇降した後、アームが降りて自動停止します。
(登録していない場合は反応しません。また、マストが最低位の時も反応しません。
 上がるボタンで少し上昇させてください。)





●解除するとき

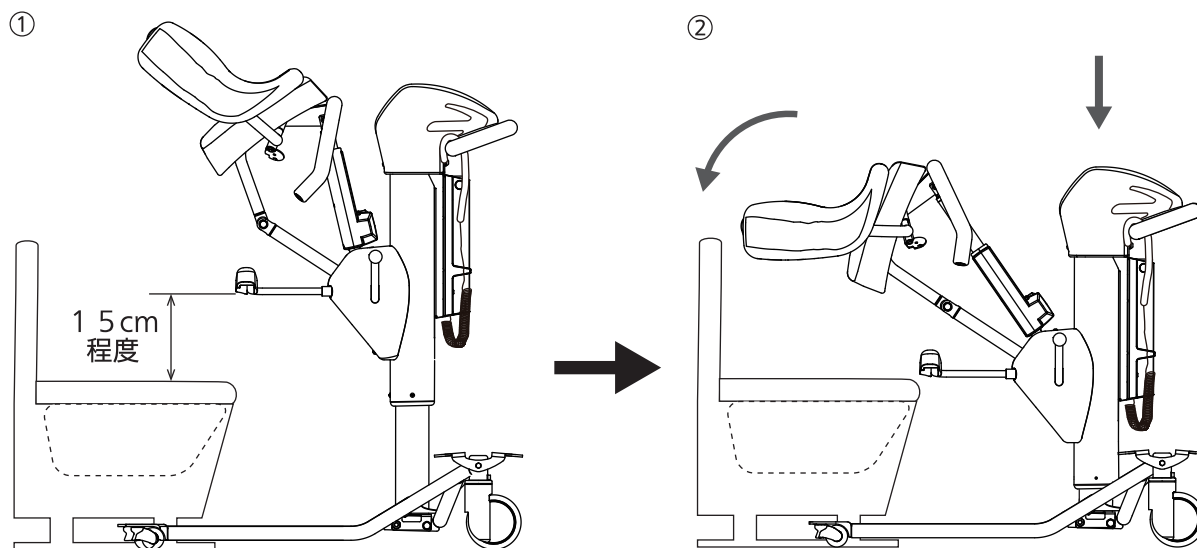
-  メモリセット +  上がる +  下がるの3つのボタンを同時に5秒間、ピッと音が鳴るまで長押しします。(全ての登録が解除されます。)



使用方法




任意の高さに降ろすとき

- ① 移乗高さメモリに登録していないところに降ろすときは、 下がるボタン、または  上がるボタンで、膝受け下面が、移乗対象物より 15 cm 程度高い位置にしてください。
- ②  降ろすボタンで、着座させてください。マストとアームが同時に下がります。膝受け下面が移乗対象物と同じ高さになったら、ボタン操作を止めてください。
 降ろすボタンを押している間は下がり続けます。



例：ポータブルトイレ

アドバイス

- ・膝受け下面の高さが 15 cm より高い場合は、アームが下がりきっても膝受けが移乗対象物より高い位置になります。高さが合うまで  降ろすボタンを押し続け、高さを合わせてください。
- ・膝受け下面の高さが 15 cm より低い場合は、アームが下がりきる前に膝受けが移乗対象物の高さまで下がります。一度、 上がるボタンで少し上昇させた後、 降ろすボタンで高さを合わせてください。

⚠ 危険



アームを昇降させるときは、ご利用者の転落、転倒、手足（身体）のはさみ込み、物のはさみ込みに十分注意してください。

⚠ 注意



膝受けが移乗対象物の座面に重ならない位置に、本体を移動してください。



緊急停止装置

●はさみ込み防止機能

下降時に膝受けや操作ハンドルなど昇降部の一部が障害物に接触してはさみ込みを検知すると、下降が自動停止します。⬆️⬆️ 上がるボタンや ⬆️⬆️ 抱き上げるボタンで一度昇降部を上昇させ、はさみ込みの原因を取除くと使用できます。

各メモリボタンまたは、⬆️⬆️ 降ろすボタンで、ご利用者を移乗させてください。

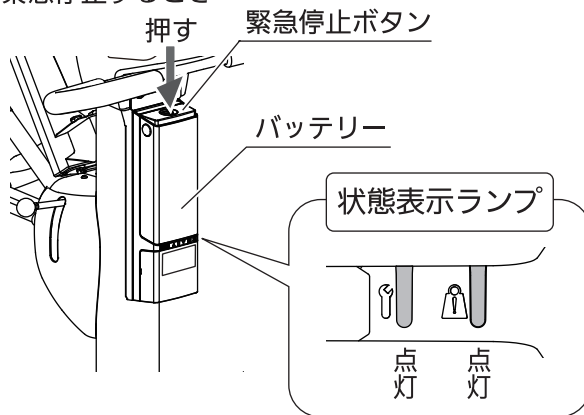
⚠️ 注意

	故意にはさみ込み防止機能を作動させないでください。 …事故や故障の原因になります。
	アームには、はさみ込み防止機能がありません。はさみ込みに十分注意して操作してください。

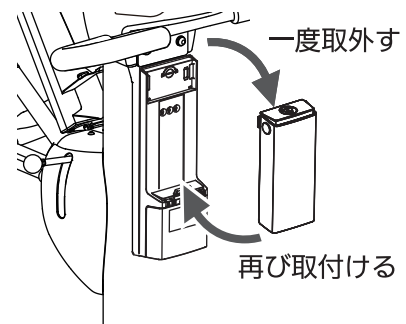
●緊急停止ボタン

緊急停止するときは、バッテリー上部の緊急停止ボタンを押込んでください。昇降動作が止まります。コントロールボックスが橙色（2カ所）に点灯します。緊急停止ボタンはバッテリーを一度取外して再び取付けると解除されます。

・緊急停止するとき



・解除するとき

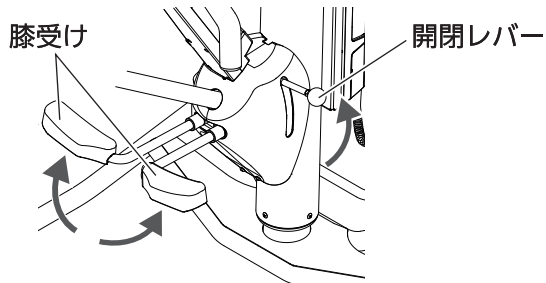


使用方法

膝受けの開閉

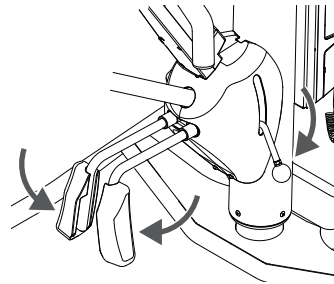
●膝受けを開く

開閉レバーを上げると、膝受けが開きます。



●膝受けを閉じる

開閉レバーを下げると膝受けが閉じます。



⚠ 危険

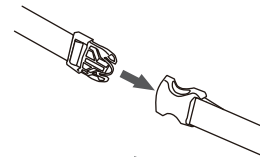


ご利用者に操作させないでください。
…バランスを崩し、転落する恐れがあります。

安全ベルトの着脱

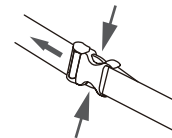
●付けるとき

バックルを合わせて押込みます。



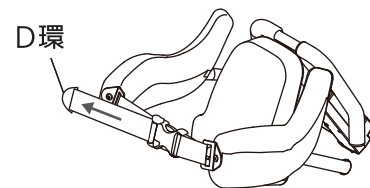
●外すとき

バックルの両側を押さえて引抜きます。



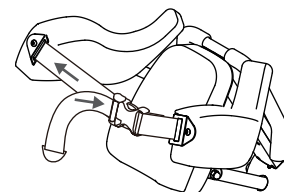
●締め付けるとき

ベルト端のD環を引っ張り、締め付けます。



●ゆるめるとき

ベルトを徐々に送り出すようにゆるめます。



アドバイス

摩耗により劣化が早くなりますので、バックルを引っ張るようにしての長さ調整はしないでください。

⚠ 危険




ご利用者を乗せたときは、転落防止のため、必ず安全ベルトを着用してご使用ください。

排泄介助方法

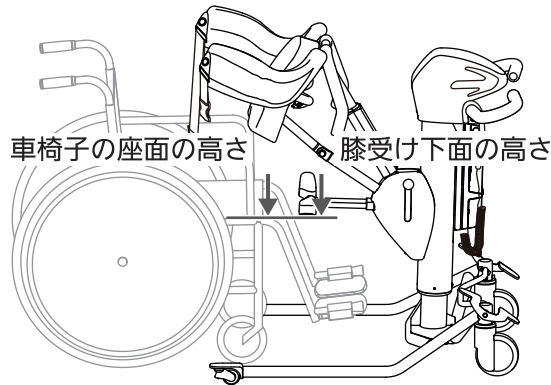
ここでは、車椅子からの排泄介助を例に、基本的な使用方法を説明します。

●車椅子からリフトへの移乗

①車椅子でトイレの近くまで移動します。

手元スイッチの  車椅子ボタンを押し、膝受け下面の高さをあらかじめ登録した車椅子の座面の高さに合わせます。(高さの登録方法については本書18ページ参照)

高さが合っていない場合は、 上がる、 下がるボタンで、膝受け下面の高さを車椅子座面の高さに合わせます。

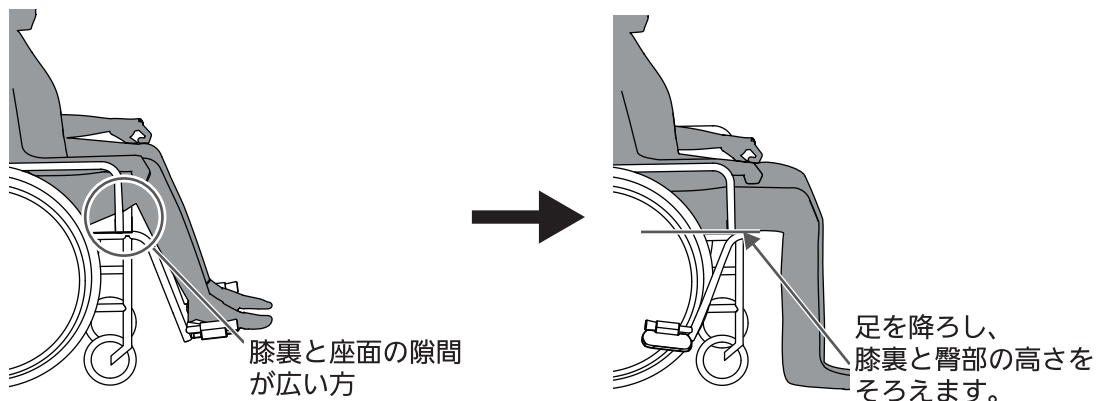


⚠ 危険



本書「ご利用できない方」(本書5ページ参照)に該当する場合は使用しないでください。
該当しない場合でも、安全を確保できない懸念がある方には使用しないでください。

②背が高い方など、下図のように足を車椅子のフットサポートに乗せた状態で膝裏と座面の隙間が広い方は、あらかじめフットサポートをスイングアウトするなどし、フットサポートから足を降ろして、膝裏が臀部と同じ高さになるようにします。



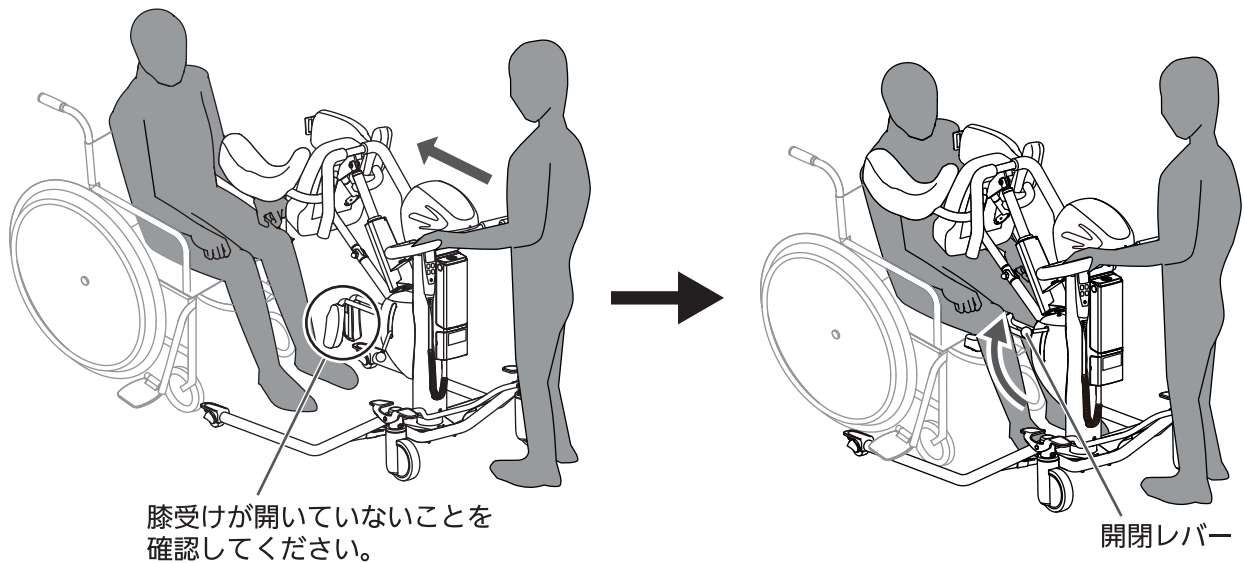
アドバイス

膝が臀部より極端に高いとリフトを近付ける際、ご利用者の足とリフトの胸受けが干渉し、リフトを近付けることができません。

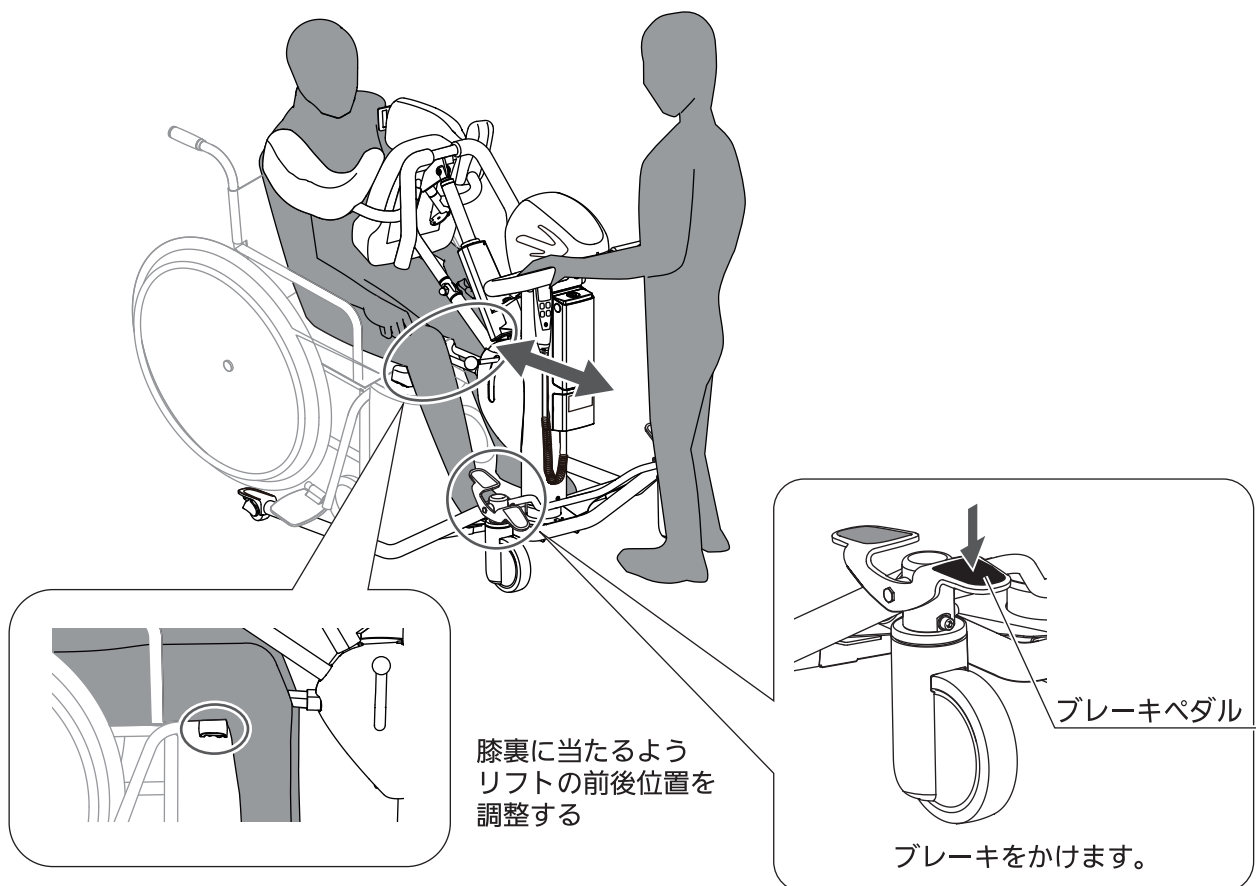
また、リフトで抱き上げた際、臀部が下がった状態になり、腕や肩への負担の増加や、ご利用者がリフトから抜落ちるリスクが高くなります。

排泄介助方法

- ③膝受けを閉じた状態で、リフトを近付け、膝受けをご利用者の足の間から膝裏に通したあと、開閉レバーで膝受けを開きます。



- ④膝受けがご利用者の膝裏に当たるようリフトの前後位置を調整し、ブレーキをかけます。



アドバイス

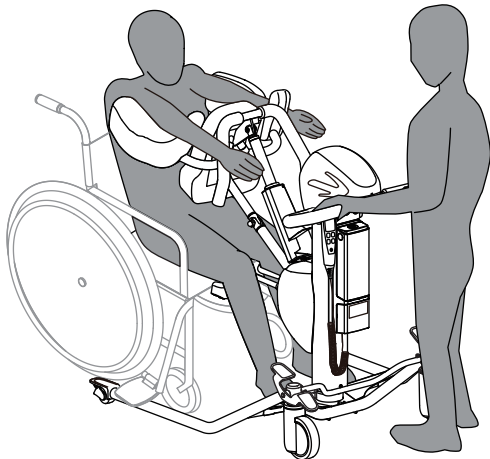
膝受けの位置を臀部側に寄せてしまうと、リフトで抱き上げた状態で下衣をおろす際、十分おろせなくなる場合があります。

排泄介助方法

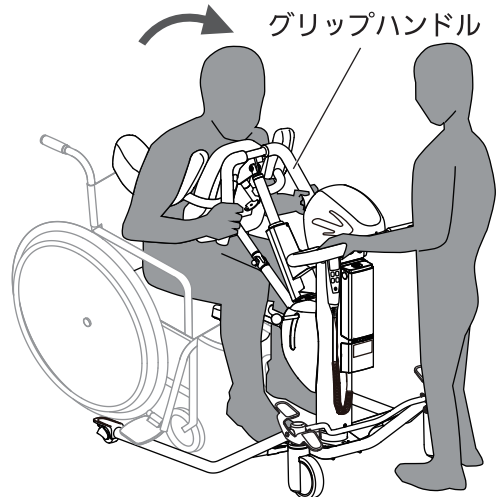
⑤ご利用者の腕を上げ、アームの上に乗るようにして、胸が胸受けに当たるまでご利用者を前傾させます。

ご利用者にグリップハンドルの握りやすい位置を握ってもらい、腕が開かないよう姿勢を維持してもらいます。

腕を上げ、アームの上に乗せます。



前傾し胸を胸受けに当てます。



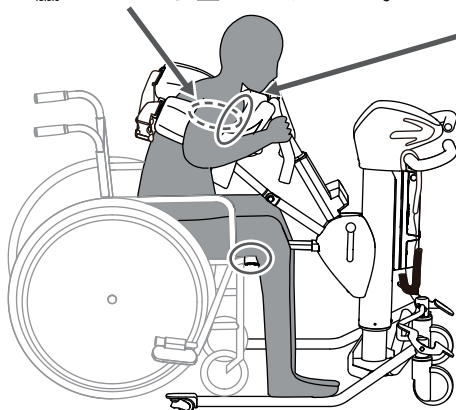
グリップハンドルを握り腕が開かないよう姿勢を維持してもらってください。

⑥アームが脇にしっかり当たるまで  上がるボタンでマストを上昇させます。

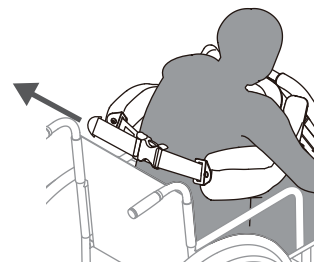
アーム、胸受け、膝受けにご利用者が正しい姿勢で乗っているか確認し、安全ベルトのバックルを止め、たるみが無い状態まで締めます。

安全ベルトの締めすぎに注意し、ご利用者が痛みを感じない程度に締め付けます。

脇をしっかり当ててください。





胸をしっかり当て、あごを引いたときに、胸受けに当たる程度の位置に乗ってください。





バックルを止め、たるみが無い状態まで締めます。

正しい姿勢で乗っているか確認します。

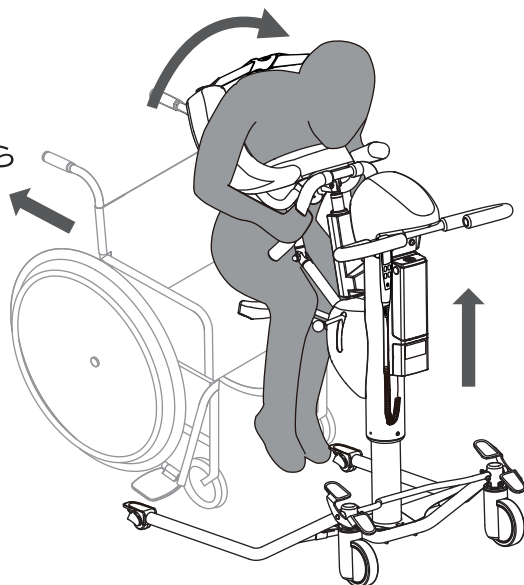
⚠ 危険

	ご利用者の症状や状態によって正しい姿勢が異なります。専門の医師や理学療法士、作業療法士などにご相談ください。
	転落防止のため、必ず安全ベルトを締めてご使用ください。





排泄介助方法

- ⑦車椅子を引抜きながら  抱き上げるボタンでアームの動きが止まるまでご利用者を上昇させ、足が床から離れているか確認します。離れていない場合は引続き  抱き上げるボタンで離れる高さまで上昇させます。

車椅子を引抜きながら
抱き上げます。



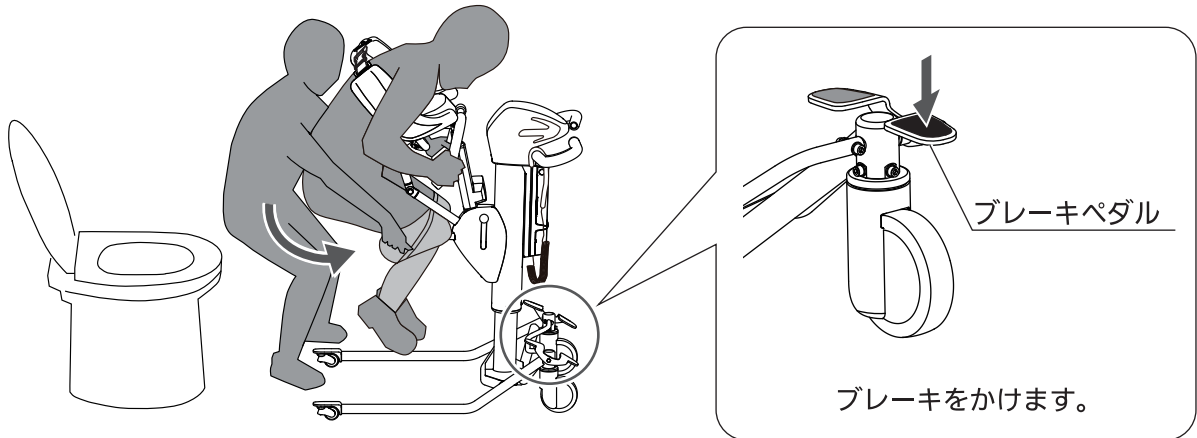
⚠ 危険

	ご利用者に操作させないでください。 …バランスを崩し、転落する恐れがあります。
	ご利用者が正しい姿勢で乗っているか、痛みを感じていないか、抜落ちる心配がないか、足が床から離れているか確認してください。
	アームを昇降するときは、ご利用者の転落、転倒、手足（身体）のはさみ込み、物のはさみ込みに十分注意してください。
	必要以上に高く上げないでください。 …バランスを崩し、転落する恐れがあります。

排泄介助方法

●リフトから便座への移乗

⑧便座の近くに移動し、ブレーキをかけ、ご利用者の下衣をおろします。





⚠ 危険

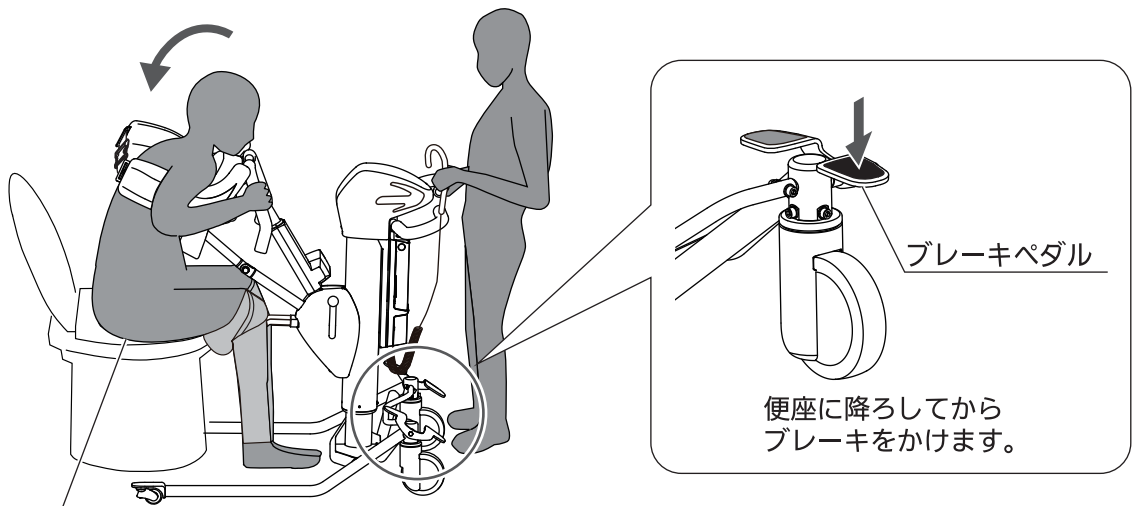


横方向に移動する際は、十分注意してください。
…バランスを崩し、転倒する恐れがあります。




ご利用者を乗せて移動するときは、できるだけゆっくり動かしてください。
…急停止や急加速、急な方向転換をすると、転落、転倒してケガをする恐れがあります。

⑨ご利用者を便座の上に移動し、手元スイッチの  トイレボタンをアームの動きが止まるまで押し続け、ご利用者をあらかじめ登録した便座の高さに降ろし、ブレーキをかけます。
(高さの登録方法については本書18ページ参照) 足が床に着いていない場合は  下がるボタンでマストを下降させます。





便座に正しく座れるよう位置を調整しながら降ろします。


アドバイス

着座後に  下がるボタンでアームや胸受けの高さを調整することで、ご利用者に合った排泄しやすい姿勢が取りやすくなります。

危険


	アーム、胸受け、膝受けなどの昇降時には、ご利用者の転落、転倒、手足（身体）のはさみ込み、物のはさみ込みがないことを確認しながら操作してください。
	安全ベルトをきつく締めすぎないでください。安全ベルトをきつく締めすぎると着座後も続けてアームを脇下から下げると肋骨を圧迫し、肋骨骨折の危険があります。着座の際、臀部が座面に着いて転落の危険がなくなったところで、一旦安全ベルトをゆるめてからアームを脇下から下げることで回避できます。

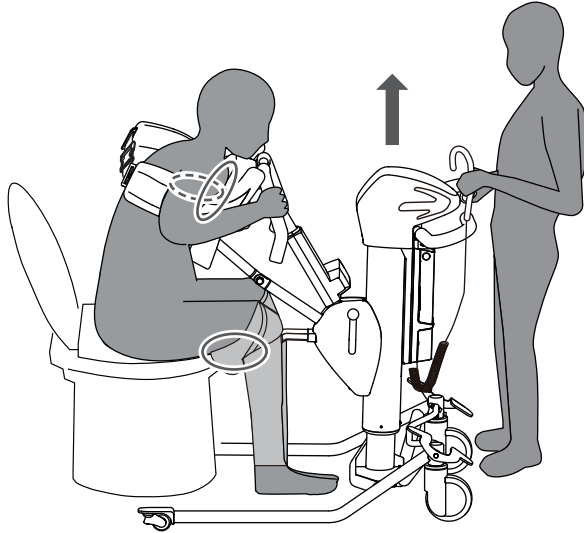
注意

	膝受けが便座に乗り上げないように注意しながら降ろしてください。
---	---------------------------------

排泄介助方法

●便座からリフトへの移乗

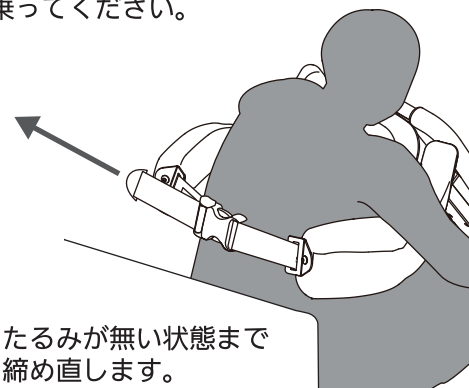
- ⑩排泄が終わったら、アームが脇にしっかり当たるまで  上がるボタンで上昇させます。アーム、胸受け、膝受けにご利用者が正しい姿勢で乗っているか確認し、安全ベルトを締め直します。



脇をしっかり当ててください。



胸をしっかり当て、
あごを引いたときに、胸受けに
当たる程度に位置に乗ってください。



たるみが無い状態まで
締め直します。

正しい姿勢で乗っているか
確認します。

危険





転落防止のため、必ず安全ベルトを締めてご使用ください。

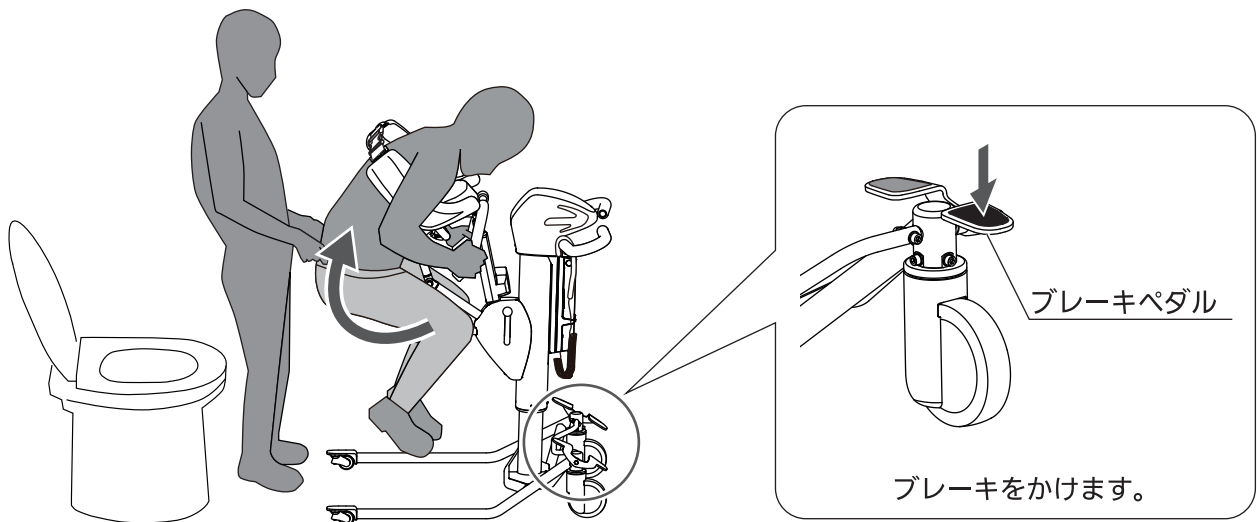
注意



安全ベルトをきつく締めすぎないでください。ご利用者が痛みを感じない程度に締め付けてください。

排泄介助方法

- ⑪  抱き上げるボタンでアームの動きが止まるまでご利用者を便座の上で上昇させ、足が床から離れているか確認します。足が床から離れていない場合は引き続き  抱き上げるボタンで離れる高さまで上昇させます。臀部をケアし、介助しやすい位置までリフトを移動しブレーキをかけ、下衣を上げます。

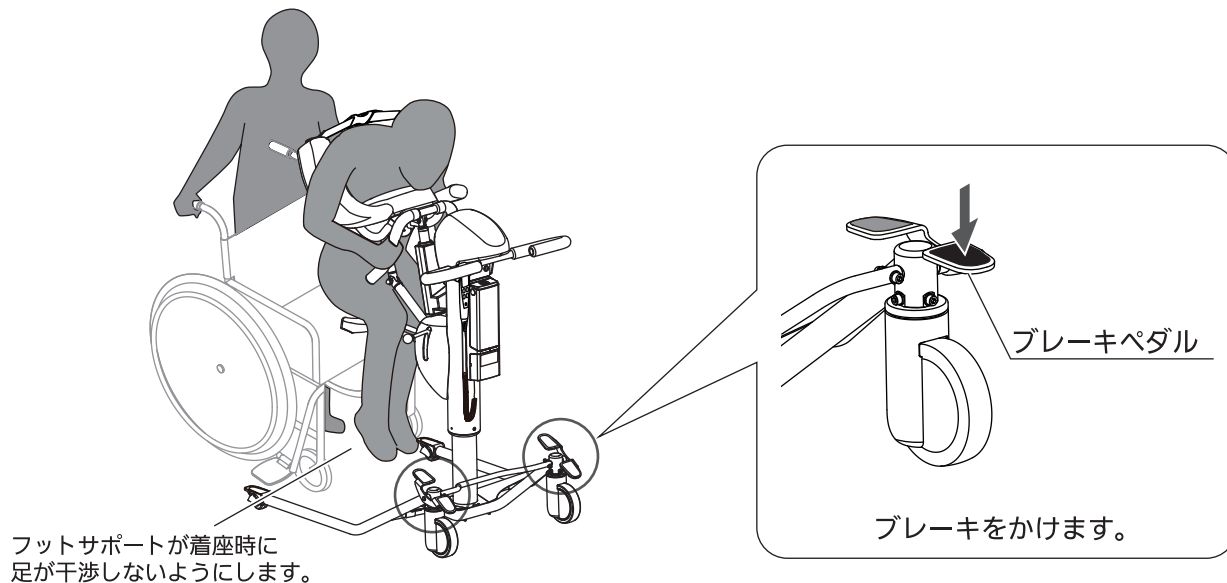



排泄介助方法

●リフトから車椅子への移乗

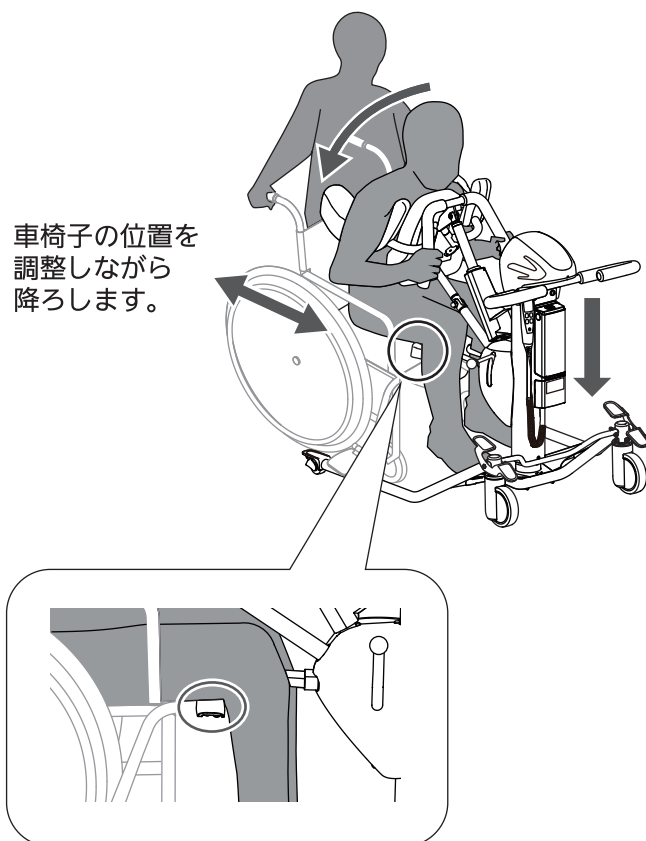
⑫ 車椅子の近くに移動し、ブレーキをかけます。

車椅子のフットサポートをスイングアウトするなど、着座時に足が干渉しないようにします。



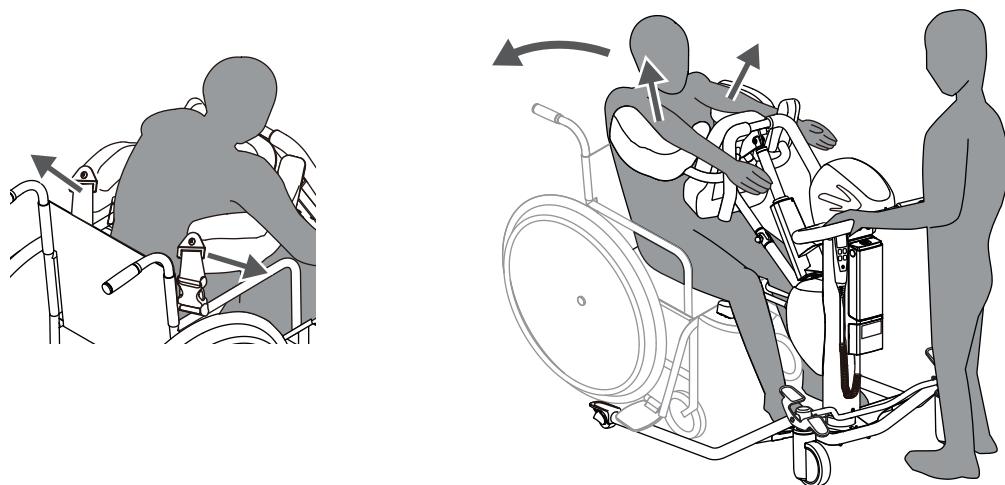
⑬  車椅子ボタンをアームの動きが止まるまで押し続け、車椅子を前後に調節して、座面奥深くに着座できるように、ご利用者を降ろします。

膝受けが座面に乗上げないように注意しながら降ろしてください。



排泄介助方法

⑭安全ベルトを外し、ご利用者の腕を少し上げからだを起こして、アームから腕を降ろします。



⚠ 危険

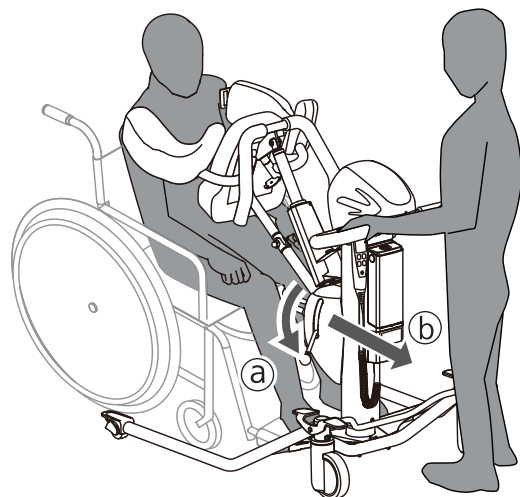


必ず安全ベルトを外してください。

…安全ベルトを付けたままリフトを引抜くと、ご利用者も一緒に引っぱられ、転落、転倒する危険があります。

⑮車椅子のフットサポートを戻し、ご利用者の足を乗せます。リフトを引抜く前に

① 開閉レバーで膝受けを閉じます。その後、② リフトを引抜けば完了です。



アドバイス

背が高いご利用者に使用する際は、リフトを引抜いた後で、フットサポートを戻してください。

⚠ 危険



必ず膝受けを閉じた状態で、リフトを引抜いてください。

…膝受けを開いたままリフトを引抜くと、ご利用者も一緒に引っぱられ、転落、転倒する危険があります。

日常のお手入れ




ご利用者の衛生管理のため、本製品を清潔に保つ必要があります。お手入れは、ご使用後または2～3日おきに行うことをおすすめいたします。また、お手入れされる時は使用前点検（本書9ページ参照）も行っていただくと、トラブルを未然に防ぐことができ、より安全にご使用いただけます。

お手入れ方法

●本体の清掃

水で薄めた中性洗剤にタオルを浸し、固く絞って汚れを拭取ってください。

注意


	クレンザー、みがき粉などの洗剤は表面を傷つけるため使用しないでください。
	塩素系の洗剤は使用しないでください。塩素系の洗剤が付着したときは、十分に水洗いしてください。 …金属部分は錆びます。カバーやクッション、ベルトなどは変色、劣化します。
	ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。 …変形や変色、電気系統の故障、劣化、誤作動による事故の原因になります。

●バッテリーの清掃

水で薄めた中性洗剤にタオルを浸し、固く絞って汚れを拭取ってください。

清掃後のバッテリーは、風通しが良く涼しい場所で保管してください。

注意




	購入日記入欄に記入されたご購入日を清掃時に誤って消さないようにしてください。
---	--

●アームカバー、胸受けカバーの洗濯

汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用し、ぬるま湯（30℃まで）で手もみ洗いしてください。

手洗い後は、風通しの良い日陰に干してください。

注意



	塩素系洗剤や漂白剤は絶対に使用しないでください。
	洗濯機、脱水機、乾燥機は絶対に使用しないでください。
	直射日光が当たる場所で乾燥させないでください。 …素材の硬化、収縮、劣化等の経年変化を早める原因になります。

日常のお手入れ

●消毒

金属、プラスチック部分は、エタノールによる清拭消毒をおすすめします。


注意

	熱湯や高温スチームによる消毒はしないでください。
	次亜塩素酸ナトリウムが金属部分に付着すると、腐食しますので、使用しないでください。

●保管

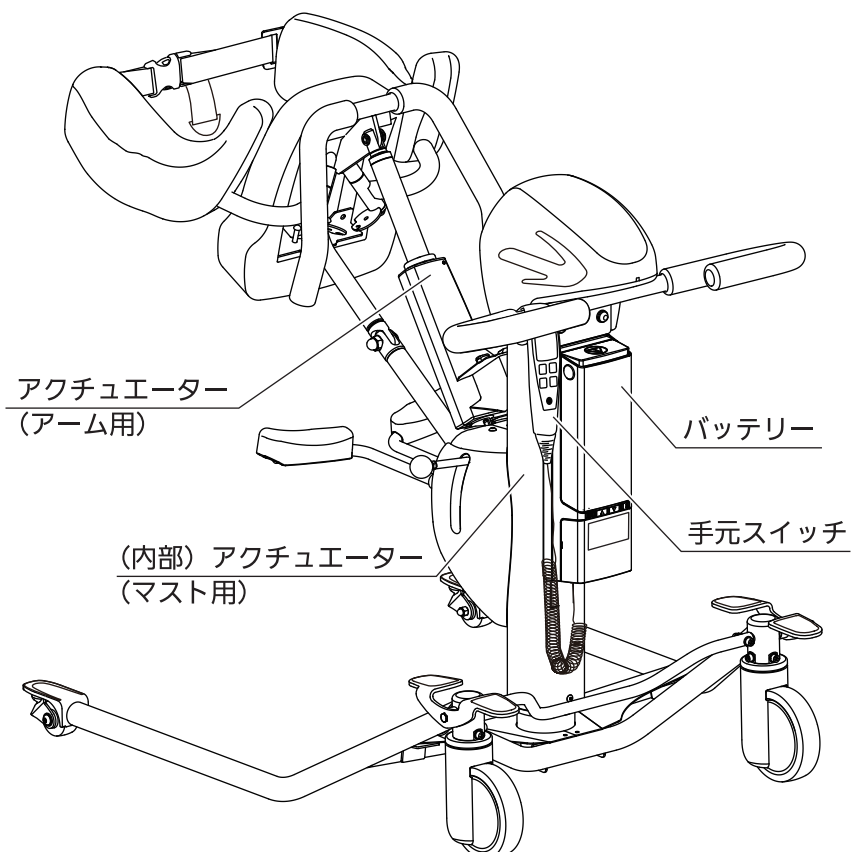
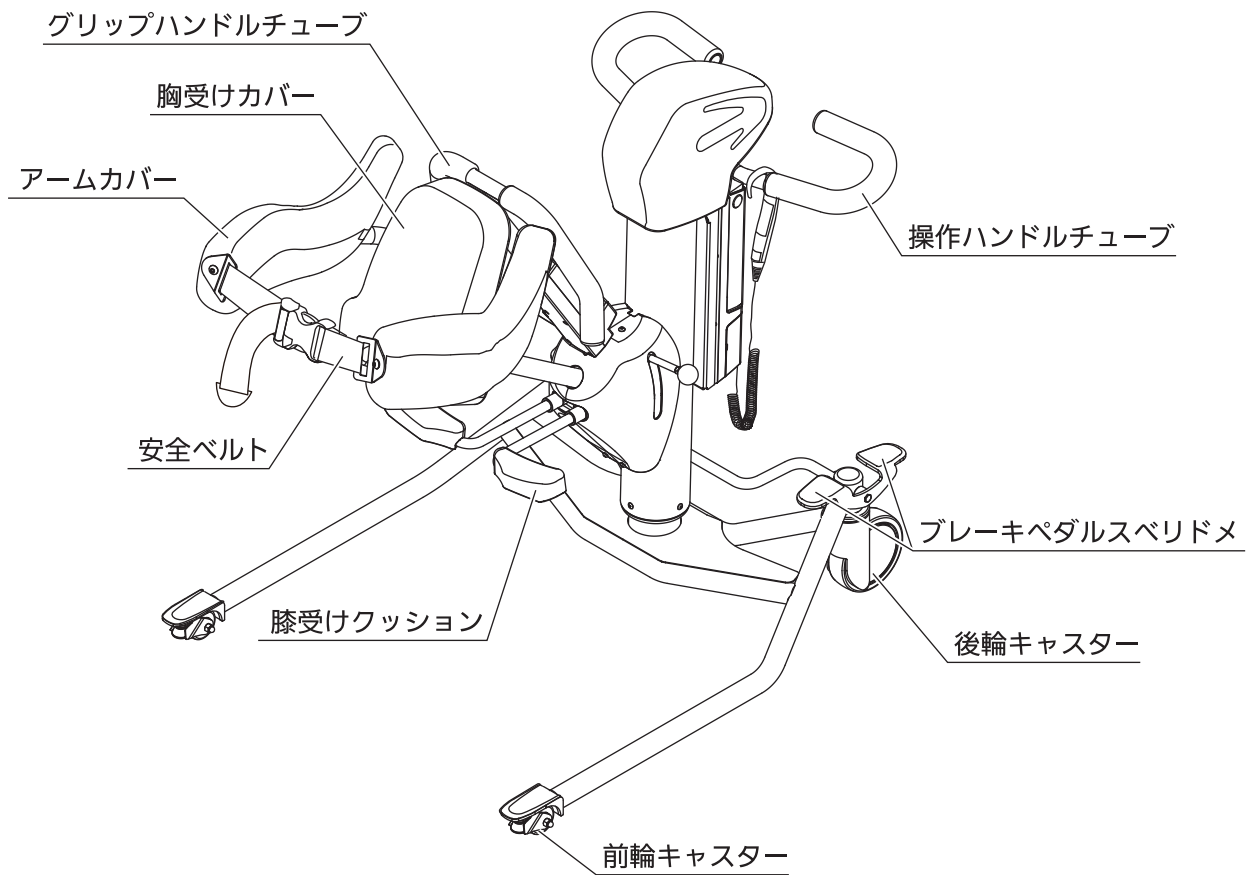
使用しないときは、直射日光を避けて風通しの良い場所に保管してください。

注意

	薬品の揮発成分や腐食性ガスが充満する環境での保管、使用はしないでください。
---	---------------------------------------

日常のお手入れ

消耗品の名称



日常のお手入れ

消耗品の交換時期

消耗品が交換時期になっていないかご確認ください。

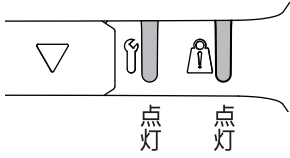
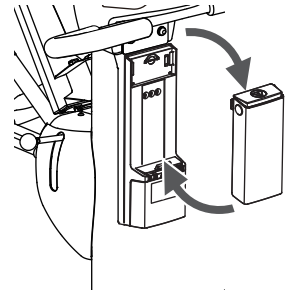
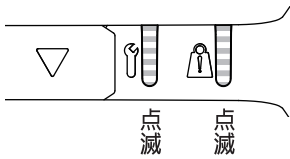



交換時期に該当するものは、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

消耗品	交換時期	⚠ 注意
前輪・後輪キャスター	車輪の動きが悪くなったとき。 ブレーキのききが悪くなったとき。 しっかりと固定されているのにがたつくとき。 タイヤ表面にひび割れや劣化が現れたとき。 異音がするとき。	転倒、ケガの原因になります。
ブレーキペダル スベリドメ	ひどく汚れてきたとき。はがれてきたとき。	
操作ハンドルチューブ グリップハンドル チューブ	劣化したとき。ひどく汚れてきたとき。 破損したとき。	
アームカバー 胸受けカバー		
膝受けクッション		
安全ベルト	ひどく汚れてきたとき。 切れ目やほつれが出てきたとき。	転落の原因になります。
手元スイッチ	昇降操作ができなくなったとき。	
バッテリー	充電後の使える回数が新品時の半分 (フル充電バッテリーでの昇降回数約35回) 程度に低下したとき。	
アクチュエーター (アーム用・マスト用)	昇降時に異音がするとき。 昇降できなくなったとき。	

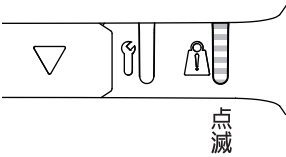
トラブルシューティング

リフト

次の対処方法では解決しなかった場合、および記載のないトラブルの場合もご購入先または弊社各営業所までお問合せください。トラブル解決までは、絶対に使用しないでください。

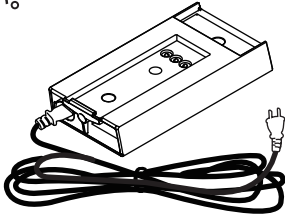
トラブル内容	主な原因	対処方法
昇降しない。	緊急停止ボタンが押込まれている。 状態表示ランプ 	バッテリーを一度取外して再び取付けると解除されます。 
	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電してください。
	バッテリーが完全に放電している。	バッテリーが完全に放電してしまうと、充電容量が極端に低下してすぐに寿命を迎えます。充電しても残量が増えない場合は、バッテリーを新品に交換してください。
	コントロールボックスのエラー。	電気系統が故障している場合があります。ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。 
	アクチュエーターのエラー。	①手元スイッチの  ボタンを押し、マストを最高位まで上昇させます。 ②手元スイッチの  ボタンを押し、アームが最下位になるまで下げます。ランプが消えれば、ご使用になれます。ランプが消えない時や再度ランプが表示される場合は、アクチュエーターが故障している場合があります。ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
アクチュエーターの連続使用時間を超えて使用した。	お待ちいただいてランプが消えればご使用になれますが、故障の原因になりますので、連続使用時間を超えて使用しないでください。 	

トラブルシューティング

トラブル内容	主な原因	対処方法
昇降しない。	本体スイッチの故障。	本体スイッチを操作しても昇降せず、手元スイッチで動く場合は、本体スイッチが故障している場合があります。ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
	手元スイッチの故障。	手元スイッチを操作しても昇降せず、本体スイッチで動く場合は、手元スイッチが故障している場合があります。ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
	電気系統の故障。	手元スイッチ、本体スイッチのどちらを操作しても昇降しない場合は、電気系統が故障している場合があります。ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
昇降すると異音がする。動作がスムーズに行えない。	アクチュエーターの故障、昇降機構の摩耗。	使用を中止し、ご購入先または、弊社各営業所までお問合せください。
操作していないのに、昇降部がじわじわと下がる。	アクチュエーターの故障。	使用を中止し、ご購入先または、弊社各営業所までお問合せください。
昇降の途中でピーと音がする。	バッテリー残量が少ない。	バッテリーを充電してください。
上昇の途中で止まる。	<p>最大持上げ質量を超えて使用した。または昇降部が何かに引っかかっている。</p> 	<p>持上げている質量を減らす、または引っかかりを取除き、ランプが消えればご使用になれますが、故障の原因になりますので、100kgを超える方には使用しないでください。</p>
下降の途中で止まる。	昇降部が異物をはさみ込み、はさみ込み防止機能が作動している。	上がるボタンや抱き上げるボタンで一度昇降部を上昇させ、はさみ込みの原因を取除いた後、下降させてください。(本書20ページ参照)
残量のあるバッテリーをコントロールボックスに取付けても、残量確認ランプが点灯しない。	コントロールボックスの故障。	ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
本体が移動できない。	ブレーキがかかっている。	ブレーキを解除してください。
ブレーキをかけるときに異音がする。	グリス切れ。	ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
ブレーキがかからない。	後輪キャストの故障。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
キャストががたつく。	前輪・後輪キャストの故障、劣化。	

トラブルシューティング

バッテリー・充電器

トラブル内容	主な原因	対処方法
充電後の使える回数が新品時の半分（フル充電バッテリーでの昇降回数約35回）程度に低下した。	バッテリーの寿命。	バッテリーを新品に交換してください。
充電開始前に充電器のランプ（緑）が3つ点灯しない。	ACケーブルの電源プラグが家庭用AC100Vコンセントに接続されていない。	電源プラグを家庭用AC100Vコンセントに接続してください。
	充電器とACケーブルが接続されていない。	充電器とACケーブルを接続してください。 
	ACケーブルの故障。 充電器の故障。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
充電を開始しても、充電器のランプ（緑）が3つ点灯したままで変化が無い。	バッテリーが充電器に取付けられていない。	バッテリーを充電器にしっかり取付けてください。
	充電の必要がないバッテリーを充電している。	バッテリーをコントロールボックスに接続し、残量を確認してください。3個点灯すれば、そのままご使用ください。
充電を開始した後に、充電器のランプ（緑）が3つ全て点滅する。	バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎるため、充電を中止した。	バッテリーを外し、バッテリーの温度が10～25℃程度になるまで待ってから充電をやり直してください。
	バッテリー、または充電器の故障。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
充電を開始した後に、充電器のランプ（緑）が3つ全て消えている。	ACケーブルの接続が抜けてしまった。	ACケーブルを接続してから充電をやり直してください。
	バッテリー、または充電器の故障。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。

トラブルシューティング

トラブル内容	主な原因	対処方法
コントロールボックスで残量確認を行うと充電器のランプの表示に比べて残量が少ない。	バッテリーの充電器への取付けが外れた。 (バッテリーが接続されていないと、フル充電と同じ表示になる。)	バッテリーを充電器にしっかり取付けてください。
	バッテリーと充電器の通信の過程で一時的に残量が異なって表示された。	更に充電を行い、30分間程度表示が変わらないことを確認してから充電を完了してください。
いつもより充電に時間がかかる。	バッテリーを放電させてしまったため、保護機能によりゆっくり充電している。	フル充電になるまでそのままお待ちください。 バッテリーの劣化の原因になりますので、少ない残量で使い続けたり、充電をせずに長期間保管しないでください。
長時間（24時間程度）充電しても、フル充電にならない。	バッテリーの寿命。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
	充電器の故障。	

ご使用期間とアフターサービスについて

ご使用期間について

本製品は、標準的な使用環境と使用条件下で、本書にしたがって正しく使用した場合の標準使用期間を8年と定めています。この期間を超えて使用されると、機能部品はもとより主要構造材も、経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が8年を超えた製品については、弊社同等製品への買替えをおすすめいたしますが、引続いての使用をご希望される場合は、必ず弊社各営業所にお問合せのうえオーバーホール^{※注2注3}を受けてから使用してください。詳細につきましては弊社各営業所までお問い合わせください。

注1：標準使用期間と保証書に記された無償修理の保証期間とは異なるものです。

注2：オーバーホールは、その後の無償修理の保証を約束するものではありません。

注3：お客様の強いご希望で、使用期間終了後オーバーホールを受けずに本製品を使用される場合は、本製品を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社はその責任を負いません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に本書をよくお読みになり、再度点検のうえ、なお異常がある場合には、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。

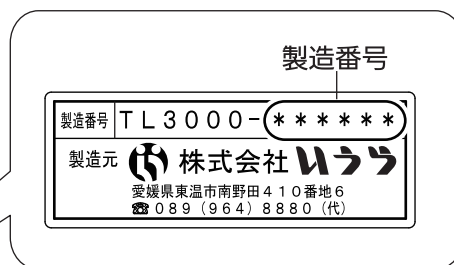
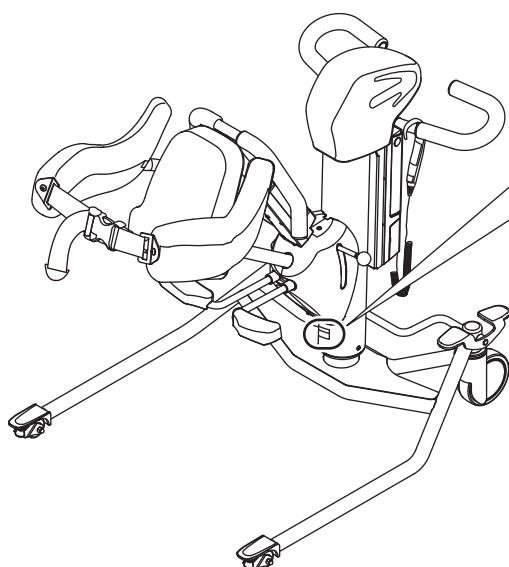
ご連絡いただきたい内容

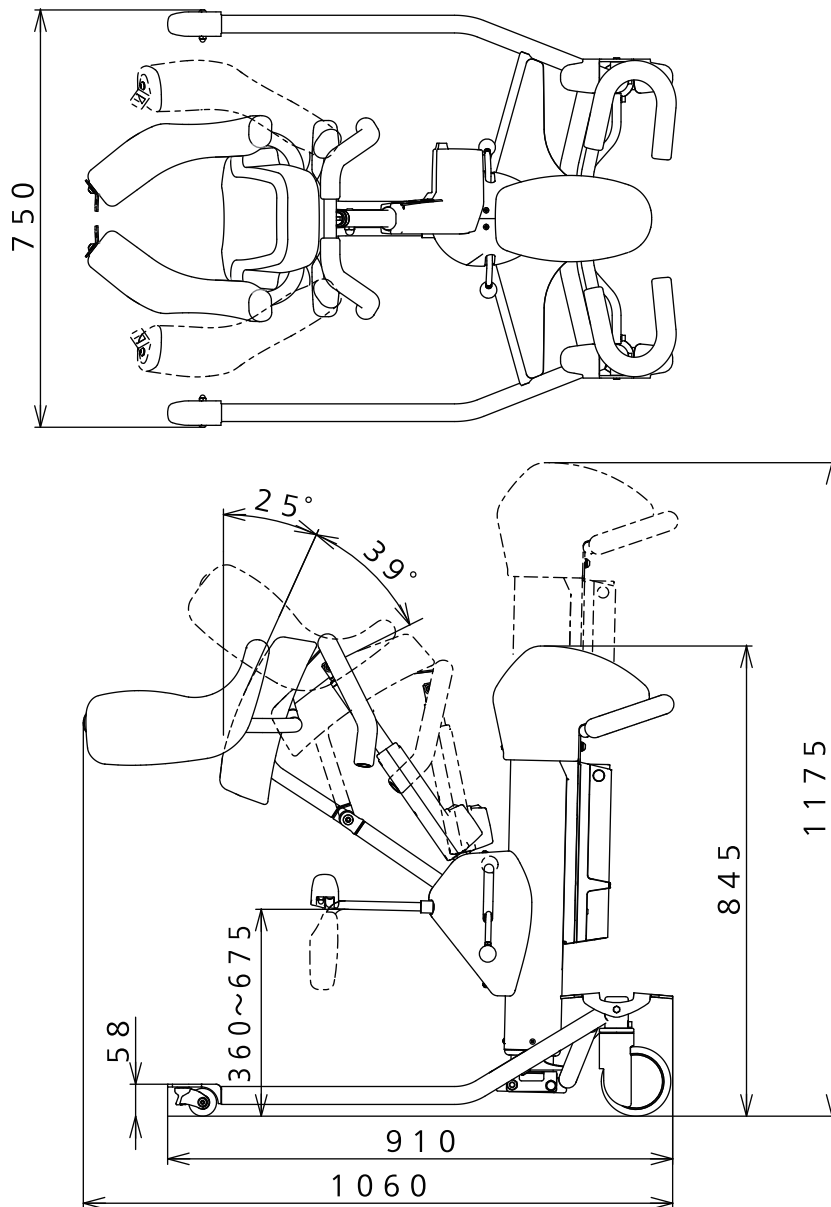
ご住所・ご氏名・電話番号

商品名（排泄サポートリフト）・型番（TL-300）・製造番号

ご購入先・お買い上げ日

故障、または異常の内容（できるだけ詳しくお願いいたします。）





奥行	1060mm
全幅	750mm
全高	1175mm
前輪フレーム高さ	58mm
膝受け下面高さ	360~675mm(100kg 負荷時)
上昇時間	約26秒(100kg 負荷時)
下降時間	約22秒(100kg 負荷時)
本体重量	約42kg
最大持上げ質量	100kg

●キャスター径 / 前輪50mm・後輪125mm

主要材質 / スチール

バッテリー仕様 (24V・2.9Ah)

フル充電約4時間 / 100kg 負荷で約70回動作可 (往復回数)

保証書

商品名 排泄サポートリフト

型番 TL-300

本書は、本書記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、販売店に修理をご依頼ください。保証期間は、お買上げ後1ヵ年です。

〈無償修理規定〉

- 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった「正常な使用状態」において故障した場合には、無償修理をいたします。ただし、交換時期となった取扱説明書記載の消耗品・交換部品は除きます。
 - 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、異常電圧による故障および損傷
 - 取扱説明書内に記載された使用目的以外に使用された場合の故障および損傷
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。
- ※ 弊社は、弊社または販売店から直接、本製品をご購入いただいた第1次ご購入者であるお客様に対してのみ、この保証書に基づく責任を負うものとします。第1次ご購入者様からの転売などにより本製品を保有されるお客様に対しては、この保証書に基づく責任を含め、一切の責任を負いません。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、販売店にお問合せください。
- ※ 保証期間終了後の修理については、取扱説明書内“ご使用期間とアフターサービスについて”をご覧ください。

製造元： 株式会社 **いうら**

本社・松山営業所：〒791-0214 愛媛県東温市南野田410番地6

TEL 089(964)7770 FAX089(964)1522

URL <https://www.iura.co.jp>

※以下の項目は必ずご記入ください。

お客様	販売店
ご住所 〒 -	
お電話 - -	
お名前 様	
お買上げ年月日 年 月 日	

— MEMO —



本社・松山営業所	〒791-0214	愛媛県東温市南野田 410 番地 6 TEL089(964)7770 FAX089(964)1522
東京支店	〒174-0063	東京都板橋区前野町 2 丁目 30-24 TEL03(5939)8611 FAX03(5939)8612
札幌営業所	〒007-0834	北海道札幌市東区北 34 条東 26 丁目 2-18 TEL011(788)5334 FAX011(788)5341
仙台営業所	〒983-0034	宮城県仙台市宮城野区扇町 7 丁目 1-18 TEL022(781)6715 FAX022(781)6796
北関東営業所	〒371-0801	群馬県前橋市文京町 4 丁目 20-17 TEL027(212)2066 FAX027(212)2067
名古屋営業所	〒485-0012	愛知県小牧市小牧原新田 1660-3-D TEL0568(42)6015 FAX0568(71)9656
大阪営業所	〒564-0002	大阪府吹田市岸部中 4 丁目 8-30 TEL06(4860)6601 FAX06(4860)6602
福岡営業所	〒839-0841	福岡県久留米市御井旗崎 4 丁目 4-42 TEL0942(45)3808 FAX0942(45)3809

URL <https://www.iura.co.jp>